

「The WALL
vol.4」

富樫
幹
展

— 平行する
時間軸 —



2023年
4月29日(土)

)

2024年
1月10日(水)





Photo:瀧原 界 / Kai Takihara

「The WALL
vol.4」
富樫 幹
展
2023年
4月29日(土)
2024年
1月10日(水)
平行する
時間軸

2019年から500m美術館ウォールゾーンで開催されるシリーズ展「The WALL」、2023年の第一弾として、東京を拠点に北海道でも活躍する富樫 幹の展示を企画します。

富樫 幹は札幌出身で20代の頃から積極的な作品発表を始めており、ギャラリー等の壁や屋外展における外壁に直接描くライブドローイングでは、そのデッサン力とストロークの巧みさで周囲を魅了しています。また、人物をモチーフとした発表は、時間性のある人物像の動きを表現し、モアレ現象のような構成を展開します。

500m美術館のウォールの長さを活かし、富樫 幹の表現における時間軸を通りゆく人々に体験していただきたい。

プロフィール | 富樫 幹(美術家) Kan TOGASHI

1982年札幌生まれ。2000年頃から制作を開始。

自然や音楽に影響を受けた抽象画や、独自の手法を施した風景画、時間軸を意識した人物画など作風は多様。またそれらの平面画を用いたインスタレーションの展開の他、大画面のダンサーの即興描写、野外イベントや市街のクラブなどでのライブペイントも行う。点や線の錯覚や、円や三角や四角の死角に隠れし核を視覚に書くように果敢に感覚で掴んだ間隔を描く。

主な展覧会に2022年「Composition」Gallery Conceal(東京)、2018年「Extension」Gallery Guernica(東京)、2014年「触覚的存在 / 移調」月光荘 画室二(東京)。主な参加イベントに「Rising Sun Rock Festival (Rain Tope)」(石狩)、「飛生芸術祭 / TOBIU CAMP」(白老)などがある。



○ご来場いただいた方を対象にWEBアンケートを実施しております。
今後のより良い企画運営のため、ご協力をお願いいたします。

回答方法

スマートフォンやパソコンを使って下記URL又はQRコードからアクセスしご回答ください。

(札幌市公式HP ホーム > 教育・文化・スポーツ > 文化・芸術 > 札幌市所管の文化施設について(指定管理者制度など) > 札幌大通地下ギャラリー「500m美術館」)
https://www.city.sapporo.jp/shimin/bunka/500mbijutukan/2023_questionnaire500m.html